

|               |                     |       |                      |        |    |     |
|---------------|---------------------|-------|----------------------|--------|----|-----|
| 施策番号<br>3-3-2 | 施策名<br>廃棄物の抑制と適正な処理 | 基本目標  | 快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり |        |    |     |
|               |                     | 政策名   | 自然と調和した生活環境の整備と環境の保全 |        |    |     |
|               | 主管課                 | 住民生活課 | 課長名                  | 杉山 ゆかり | 内線 | 111 |
|               | 施策関係課               | 農林課   |                      |        |    |     |

1. 施策の方針と成果指標

| 施策の方針   |  | 対象                | 意図                                    |        |        |        |          | 結果  |  |
|---|--|-------------------|---------------------------------------|--------|--------|--------|----------|---|--|
| 町民、事業者、行政が一体となり、それぞれの役割と責任を果たし、ごみの減量化や資源化、廃棄物の適正処理に取り組み、循環型社会の構築を推進します。 |  | 町民・工商业者・農業者・廃棄物の量 | 家庭系・事業系ごみの排出量の減少とリサイクルによる資源の有効活用をすすめる |        |        |        |          | リサイクルなどの資源化による循環型社会を築き、環境と調和した産業の健全な発展につなげる |  |
| 成果指標  | 説明   | 単位                | 23年度(策定時)                             | 27年度   | 28年度   | 29年度   | 30年度(目標) |   |  |
| ① 町民1人1日あたりのごみの排出量  | (年間総ごみ排出量－資源ごみ)／365日／人口  | g                 | 564.53                                | 569.34 | 576.08 | 496.47 | 496.47   |   |  |
| ② リサイクル率  | 家庭系資源ごみ総排出量／家庭形総ごみ排出量  | %                 | 33.3                                  | 32.2   | 33.2   | 35.7   | 35.7     |   |  |
| ③   |  |                   |                                       |        |        |        |          |   |  |
| 成果指標設定の考え方  | ① 1人1日あたりのごみ排出量を減量する施策を講じる必要があることから成果指標に設定。<br>② 家庭系ごみのリサイクルによる資源化の推進が、ごみの減量に繋がることから成果指標に設定。 |                   |                                       |        |        |        |          |   |  |

2. 施策の事業費

|           | 27年度決算  | 28年度決算  |
|-----------|---------|---------|
| 施策事業費(千円) | 204,532 | 251,482 |
| 人工数(業務量)  | 0.4804  | 1.0176  |

3. 施策の達成状況

| (1) 施策の達成度とその考察              |   |                          |   |
|------------------------------|---|--------------------------|---|
| ①平成28年度の成果評価(前年度比較)          | <input type="checkbox"/> 成果は向上した<br><input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった<br><input type="checkbox"/> 成果は低下した  | 想定される理由                  | ①は微増だが、②のリサイクル率が向上したため「成果は変わらなかった」と判断した。  |
| ②平成30年度の目標値達成見込み             | <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる<br><input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能<br><input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい                                    | 根拠(理由)                   | ①は、生活様式の多様化等により目標達成は難しいが、昨年度本町の「ごみ処理基本計画」の中間見直しを行い、道の基準に基づき新たな目標値を設定したが、ごみの減量化を推進していくため、適正処理に取組み、目標達成を目指す。<br>②リサイクルの推進・啓発を強化し、町内会等団体に対して資源ごみ回収活動の取り組みを推進していくことで、目標達成は可能。 |
| (2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括 |   |                          |   |
| ①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業     | 可燃・不燃等ごみ収集処理事業<br>資源ごみ収集処理事業<br>資源物集団回収支援事業<br>農業廃棄物適正処理推進事業  | ②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業 |   |
| ③事務事業全体の振り返り(総括)             | ●ごみの減量化と分別の推進→計画策定から5年経過の「ごみ処理基本計画」の中間見直しを行った。ごみの分別回収・資源化・減量化等を周知継続しているが、可燃ごみの量は、生活様式の多様化等により横ばい傾向である。<br>●ごみの資源化の推進→町内会などによる資源物集団回収は、資源ごみの自主的な回収や地域活動の推進につながった。<br>●農業廃棄物再利用→農業用廃プラスチックの再利用に関する実証試験を継続し、農業廃棄物のエネルギー化の可能性を模索する。 |                          |   |

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

|      |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|
| 進捗結果 | A | B | C | D | E |
|      |   |   | ○ |   |   |

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 施策を取り巻く状況と今後の予測                   | <p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化と分別の推進の継続。関係機関と連携した不法投棄対策。</li> <li>・農業廃棄物再利用実証試験の継続。長いもつるネット運搬回収方法とペレット材料の木材チップ等確保方法の検討。</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型家電の回収を推進し、「都市鉱山からつくるみんなのメダル！プロジェクト」に参加(平成30年度まで)。</li> <li>・ペレット製造工場建設や稼働を視野に入れた取り進め。</li> </ul> |
| この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみステーション: ごみ分別の徹底、カラス等対策の意見・要望がある。</li> <li>・ごみネット助成金: 芽室町市街地町内会連合会より、助成金の限度額を上げてほしい。</li> <li>・資源ごみ回収: 町内会等団体が取り組んでいる資源ごみ回収活動に対する助成金(回収量単価)を上げてほしい。</li> </ul>   |

**5. 施策の課題認識(現状の課題、新たにに取り組むべき課題)**

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●課題① ごみの発生・排出抑制・リサイクルの推進<br/>ごみ減量への意識啓発や指導を継続し、町民・事業者・行政がそれぞれの役割を担いながら、ごみの減量化、資源化、適正処理による資源循環型社会の実現に向けて取り組む必要がある。</li> <li>●課題② 農業廃棄物適正処理の推進<br/>農業廃プラスチックのエネルギー化の可能性を模索し、実証試験終了後は、町が主体となって事業を展開する予定である。今後は、実用化、方向性、事業内容を決定していく。</li> </ul> |
|--|

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

|             |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価          | 次により前進していると評価する。<br>●ごみの分別化を推進している。<br>●農業廃棄物再利用の推進をすすめるための検討をおこなっている。  |   | A | B | C | D | E |
|             |   | 進捗結果  |   |   | ○ |   |   |
| 今後の取組に対する意見 | ●農業廃プラスチックのエネルギー化の実用化に向けてすすめてもらいたい。<br>●生活スタイルの変化に合わせたごみの減量化を検討してもらいたい。 | A: 実現した<br>B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した<br>C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した<br>D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない<br>E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した |   |   |   |   |   |

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

|             |  |   |   |   |   |   |   |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 評価          | ゴミの分別、ゴミネットの助成など、施策は前進していると評価する。   |   | A | B | C | D | E |
|             |  | 進捗結果  |   |   | ○ |   |   |
| 今後の取組に対する意見 | ●ごみ減量化について、周知・啓発共にさらに一歩踏み込んだ取り組みがあると良い。<br>●ゴミネット助成制度や、荒らされないサークルの作り方など、さらにわかりやすい周知をしてほしい。 | A: 実現した<br>B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した<br>C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した<br>D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない<br>E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した |   |   |   |   |   |